

## 若林区役所で「震災後の地域づくり講演会」が行われました

若林区役所で行われた「震災後の地域づくり講演会」では、辻センター長が第6期被災者健康診査（アンケート調査）の結果を説明しました。これまでに「地縁活動や社会活動に参加する人やソーシャルサポートが多い人ほど健康な人が多い」という報告がありましたが、今回のアンケート調査でも、周囲への信頼感が強い方ほど睡眠ややこころの健康である方が多いという結果となりました。この結果から、健康を保つためには地域のつながりが大切であることが示されたと思います。今後、復興支援住宅への入居者が増加するため、地縁的な活動が少なくなり、閉じこもりとなる高齢者が増えることが予想されます。高齢者の生活不活発病を予防するためにも健康づくりと同時に、地域のネットワーク作りも支援する体系が必要ではないかと思われました。

また、講演会には民生委員、地域包括支援センター、自治体関係者の方など多くの方にご参加を頂きました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

（公衆衛生学分野・菅原由美）

